

 市長 後藤 圭二	大阪府 すいたし 吹田市  	【データ】 令和7年3月末日現在 ・人 口:384,302 人 ・世帯数:187,467 世帯 ・面 積:36.09 km² ・市の花:さつき ・市の木:くすのき ・特産物:吹田くわい ・イベント:すいたフェスタ 【連絡先】 ・担当:健康医療部健康まちづくり室 ・電話:06-6384-2614
---	--	---

◆吹田市の紹介◆

- ① 昭和 15 年（1940 年）に誕生した吹田市は、令和 2 年（2020 年）に中核市へ移行しました。
- ② 大阪市に隣接し、15 の鉄道駅と高速道路のジャンクションがある交通アクセスの良さと、万博記念公園などの緑豊かな環境が特徴です。
- ③ 人口は平成 7 年（1995 年）から増え続けています。



◆健康都市に向けた取組例◆

1 健康・医療のまちづくり～北大阪健康医療都市（健都）～

健都では、国立循環器病研究センターをはじめとしたオープンイノベーションの拠点となる場を整備する一方、駅前複合施設、



高齢者向け住宅、公園や図書館など市民が集う場を整備し、実証フィールドとすることで、「イノベーションによるヘルスケア産業の創出」と「新たなライフスタイルの創造」の好循環を生み出すまちづくりを進めています。

健都の特徴である多様な実証フィールドを活用し、市民を対象に地域実証事業を実施し、企業・研究機関・大学等による製品・サービスの開発・有効性の確認等を行っています。また、健都の関係機関が連携して開催する大型イベントにより、住民とのつながりやにぎわいを創出し、昨年度は延べ約 23,500 人が参加しました。



地域実証事業の様子



地域実証事業への参加募集や健康情報などの発信を行う会員制度「健都ヘルスサポーター制度」を運用しており、会員は2,400人を突破しました。

こうした、まちぐるみで健康寿命延伸に向けた取組を、産学官民連携のもと一体となって進めています。今後も健都が成長・進化を続けていくことを目指します。

2 データヘルスの推進

健康・医療情報の利活用に対する市民等の理解を得ながらデータヘルスの取組を進めるため、本人への還元を第一に、情報の一体的管理、情報の効果的活用（一次利用）、イノベーション促進（二次利用）を総合的に推進しています。その取組の1つとして、これまでから市独自で進めてきた、子供の生活習慣病予防検診（血圧測定・血液検査）の実施や、学校健診情報の電子化などの取組を活かし、子育て世代の健康増進を図るため、国立循環器病研究センター健診部監修の生活習慣改善のチェック機能や、母子健康手帳機能を一部搭載したアプリを開発し運用しています。今後、健診結果の自動表示など機能の拡充を予定しています。



引き続き、新しい技術や知見を積極的に活用し、更なる健康寿命の延伸を目指します。

3 スモークフリーの推進

喫煙者本人をはじめ、全ての市民が健康で快適に暮らせるまちづくりのため、3つの柱に基づき「スモークフリーシティ（たばこの煙のないまち）・すいた」の実現に向けた取組を行っています。

(1) スモークフリーの機運醸成

スモークフリー協賛事業者制度により、現在564の市内事業者と連携した取組を推進しています。

(2) 禁煙支援の充実

密閉型喫煙所「卒煙支援ブース」を設置し、禁煙を促す動画の放映やポスターの掲示により喫煙者に直接働きかけを行っています。2駅、2公園の4か所設置。

(3) たばこを吸わせない教育

小中学校や親子が参加するイベントで啓発パネルの展示を実施しています。

